



くっ...!!
油断した...っ

ゴ布林如き
人質を取る
知能があるとは...

村人さえ
解放されれば
こんな奴ら...っ

ヒンナン、
チヤッ
エカマシヤ

ナカマ、
コロサレタ、
ドウスル

ゴ

ゴ

ボスニア
サリダス

な...っ
何を
しているッ!!

やめろ...ッ!!

わ...っ、
私の身体に
触れるなッ!!

下賤な
魔物の分際でッ...!!

シママメモ、
トシカ
サリダス

モモモ
モモモ



ニラケッ、
オラナダ

クソッ…

こんなことを
して何のつもり
だ…っ！

み、見るなッ！！

か、顔を、
近づけるな…っ！

…っ

アッ

オラナッ

オラナッ

アッ



ツカエトルカ
タメソウ

さつきから
何の話を、
して...

ツカエトルカ
タメソウ

胸をつ...
引つ張るなあ...ツ

ツカエトルカ
タメソウ

ツカエトルカ
タメソウ

ツカエトルカ
タメソウ

ツカエトルカ
タメソウ



オプナツ
クチ、マレツ

おかしい…

ゴブリンが
こんな要求を
するなんて…

ボスとかいう
奴の存在が
関係している
のか…？

ツカマエタ
ニフケラ、

「ロス」

「おっ」

「〜」

時間を稼げば
脱出するチャンスが
来るかもしれない

今は…今は
我慢するんだ…っ

だ、大丈夫…っ

こ、これくらい
の…っ

どんなに
辱められようと、
耐えていれば
必ず、助けが…っ

は…っ

は…っ

は…っ

は…っ

は…っ

は…っ

ド…っ

ポスダ
ポス、ポス

ド…っ

ド…っ

は…っ

オ、オーク…!!

何故オークが
ゴブリンと…!!

カ
ニ
お

やめろッ!!
離せッ…!!

ん…の…ッ

キ

キ

キ

キ

キ

キ

キ



キョウ

ナカマ、フマス、

オークノコトモ
ツヨイコトモ

アッ
アッ

な…っ!!

ヒキ
ヒキ

ヒキ
ヒキ



オークの
子供…っ？

や、やめろ…ッ
無理だッ!!

オークのなんてっ
こんなの、
挿入るわけ…ッ

チビッ

チビッ

チビッ

チビッ

チビッ
チビッ
チビッ

チビッ
チビッ
チビッ

チビッ
チビッ
チビッ
チビッ
チビッ

チビッ
チビッ





は...は...は...

ひびく...
ひびく...
ひびく...
ひびく...
ひびく...

う、
動くな...ッ

やめろ、お...っ

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...

めつ、名誉ある
王家の血と、
き、騎士の
誇りを

き、騎士の
誇りを

穢すなど、
ゆ、許されん、
ぞお...ッ

か、必ず貴様等に
む、報い...!!

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...

は...は...は...
は...は...は...
は...は...は...



やっ
やめてえ…っ

く、苦し…っ

いやっ
腔内で、
大きく…っ

赤ちゃんっ
いやあ…!!

お願いだから
射精さない
でえっ…!!

あーっ

んっ
んっ

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ

うっ…
うっ…
うっ…

そ、そんな…っ

ん…

ん…

ん…

ん…

ポス、
オマエ、
キニイッテ

モット、
ツネツケル、
フマス、イッパイ

ん…

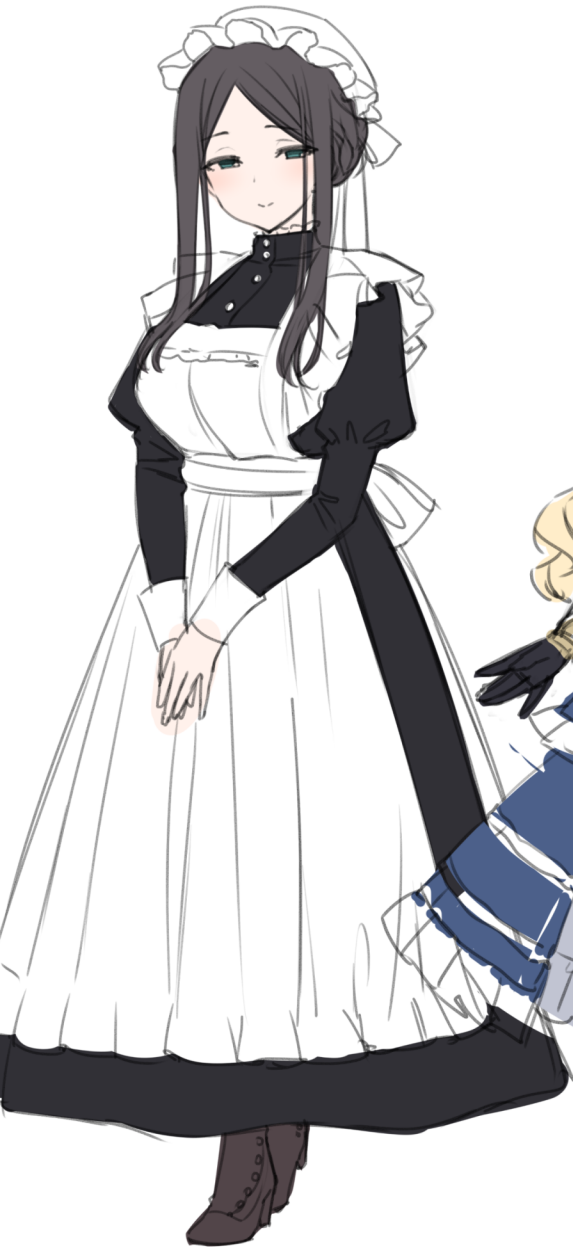
ん…

ん…

ん…

ん…





メイド 年齢 26歳

元女騎士。
 姫様の護衛として長らく勤めていた。
 今はメイドとして姫様のお側に仕えている。
 姫様の成長を嬉しく思いつつも、
 自分の手から離れるのを寂しく
 思っている。



姫騎士 年齢 ●5歳

お姫様ながら幼い頃から騎士に憧れていた。
 身分関係なく接してくれるメイドに
 唯一心を開いている。

昔、よく遊んでいた村がゴブリンの群れに
 襲われたと聞き、居ても立っても居られず
 単身で向かう事に。

本当に美しく
なられましたね

ついこの前まで
わんぱくなお姫様
でしたのに

もうっ！

いつまでも
子供扱いして…

私も
もう立派な騎士
なのだぞっ

いつか国の
名を背負って

嫁がれる日が
来るのですから

夜伽の
訓練もしないと
いけませんよ

わ、私は
結婚なんて、
まだあ……っ

とっても
綺麗ですよ、

んっ……
姫様……

あっ……
そんなところ
恥ずかしいのに……

